



松ヶ崎だよ！

～学校評価特集号～

京都市左京区松ヶ崎堀町40

TEL . 075(781)3380 FAX . 075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

家庭数配布

平成28年3月22日
 京都市立松ヶ崎小学校
 校長 池田 利勝

子どもを共に育む
 京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
 行動の輪を広げましょう！

1月に後期の学校評価を実施しましたところ、276通（約86%）のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。私たちも、保護者の皆様から頂きました学校評価と児童のアンケートを通して、自分たちの日々の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒によりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は1月の結果をお伝えするとともに、7月の結果との比較から見えてくる課題を明らかにし、今後の取組に生かしていきたいと思います。

学校での様子

人の話をよく聞き、自分の考えをしっかり話す。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	37.6	53.4	9.0	0
	後期	31.3	57.6	11.1	0	
児童	高学年	前期	28.7	52.9	18.4	0
	後期	31.1	53.0	14.4	1.5	
保護者	低学年	前期	69.4	23.1	6.3	1.3
	後期	59.9	28.7	10.2	1.3	
児童	高学年	前期	35.7	43.6	19.3	1.4
	後期	31.3	53.1	13.8	1.9	

めあてをもって、すすんで学習に取り組む。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	44.8	51.5	3.7	0
	後期	43.1	50.7	6.3	0	
児童	高学年	前期	30.9	57.4	11.8	0
	後期	34.1	50.0	15.2	0.8	
保護者	低学年	前期	78.1	20.0	1.9	0
	後期	68.2	26.1	5.7	0	
児童	高学年	前期	42.1	45.7	10.7	1.4
	後期	32.5	51.3	15	1.3	

分かるまで、がんばって学習する。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	40.3	51.5	6.7	1.5
	後期	27.1	59.7	11.8	1.4	
児童	高学年	前期	27.9	54.4	16.2	1.5
	後期	25.0	50.8	24.2	0	
保護者	低学年	前期	86.9	11.3	1.3	0.6
	後期	67.5	29.9	1.9	0.6	
児童	高学年	前期	49.3	37.1	10.7	2.9
	後期	44.4	41.9	11.9	1.9	

朝読書などで、本を読んでいる。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	37.7	41.5	19.2	1.5
	後期	35.5	39.7	19.1	5.7	
児童	高学年	前期	27.9	41.9	26.5	3.7
	後期	30.8	45.1	19.5	4.5	
保護者	低学年	前期	78.1	12.5	6.9	2.5
	後期	64.3	22.3	10.8	2.6	
児童	高学年	前期	65.0	26.4	7.9	0.7
	後期	49.4	35.0	15.0	0.6	

誰にでも、優しく接している。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	41.8	53.0	4.5	0.8
	後期	49.7	44.8	5.5	0	
児童	高学年	前期	43.4	51.5	4.4	0.7
	後期	43.3	53.0	3.0	0.8	
保護者	低学年	前期	75.0	22.5	1.9	0.6
	後期	68.2	26.1	3.2	2.6	
児童	高学年	前期	44.3	48.6	5.7	1.4
	後期	38.1	53.1	7.5	1.3	

学校が楽しい。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	70.9	26.1	3.0	0
	後期	67.4	29.2	3.5	0	
児童	高学年	前期	49.3	45.6	4.4	0.7
	後期	48.9	45.9	3.0	2.3	
保護者	低学年	前期	83.8	13.8	1.9	0.6
	後期	79.0	15.3	3.8	1.9	
児童	高学年	前期	62.1	29.3	6.4	2.1
	後期	53.8	33.8	8.1	4.4	

「先生や友達の話をよく聞き、自分の考えをしっかり話している。」は、高学年において保護者・児童ともCの割合が減っています。これは、今年度より国語科を中心に「協働的な学び」をテーマにして研究活動を進めてきた成果の表れではないかと考えます。ただ、全体的には評価が下がる傾向にありますので、次年度以降も継続して取り組んでいきたいと思います。また、「子どもの話をしっかり聞く。」ことを大切にされているご家庭も多く、子どもたちの大きな支えとなっています。ありがとうございます。

については、Cの割合が増加していること、については、児童に比べて保護者のCの割合が増加していることが気になります。保護者の方の評価には「もう少し頑張ればできるのにな。」という思いが込められているのではないでしょうか。学校では、毎時間、見通しを持って学習を進められるよう「めあて」を明確にしたり、支援員のサポート体制を強化したりしています。今後も、全ての児童が“分かる喜び”や“学ぶ楽しさ”を感じができるよう、授業改善に取り組んでいきたいと思います。

本校では毎週水曜日に朝読書に取り組んでいます。また、学校運営協議会読書企画推進委員会の方々に、読み聞かせの会や図書室の環境整備などをしていただいたり、学校図書館運営支援員が読書環境づくりに取り組んだりしています。しかしながら同様、後期に「朝読書などで、本を読んでいる。」の児童の割合が下がりました。要因の一つに、学年の中で学級文庫の入れ替えを行っていないこともあると考えます。委員の方々や支援員とも連携を深めながら、今後も読書環境の改善に努めます。特効薬ではないですが、教育的効果が非常に高いとされている読書です。ご家庭でも、“家族で一斉読書”などに取り組まれるのもよいかかもしれませんね。

ともに、A・B合わせた割合は児童・保護者とも大きな変化は見られません。しかし、において、Dと回答した

児童が僅かながらも増えたことは重く受け止めなければいけません。児童にヒヤリングを行うなど対策を講じ、全ての児童が「学校が楽しい。」と感じる学校づくりを進めていきたいと思います。

家庭・地域での様子

家庭学習に取り組んでいる。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	44.0	47.8	6.7	1.5
		後期	35.2	48.3	13.8	2.8
児童	高学年	前期	35.6	46.7	15.6	2.2
		後期	37.9	40.9	20.5	0.8
保護者	低学年	前期	83.9	11.8	3.7	0.6
		後期	84.1	13.4	2.6	0
児童	高学年	前期	58.3	30.2	9.4	2.2
		後期	49.4	32.5	13.8	4.4

忘れ物をしないようにしている。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	37.0	51.9	11.1	0
		後期	33.8	53.8	10.3	2.1
児童	高学年	前期	28.1	51.9	19.3	0.7
		後期	29.8	49.6	18.3	2.3
保護者	低学年	前期	62.3	24.5	8.2	5.0
		後期	63.5	25.8	7.6	3.1
児童	高学年	前期	51.4	31.4	15.7	1.4
		後期	41.9	41.9	13.8	2.5

「早寝・早起き・朝ごはん」などに気をつける。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	53.7	39.6	6.7	0
		後期	44.1	45.5	10.3	0
児童	高学年	前期	39.3	45.9	14.1	0.7
		後期	39.6	47.8	12.7	0
保護者	低学年	前期	74.4	15.0	7.5	3.1
		後期	66.5	25.3	5.7	2.5
児童	高学年	前期	52.1	27.9	16.4	3.6
		後期	45.6	37.5	12.5	4.4

気持ちのよいあいさつ。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	35.1	47.0	17.9	0
		後期	40.3	43.8	14.6	1.4
児童	高学年	前期	25.9	56.3	17.8	0
		後期	31.3	49.6	19.1	0
保護者	低学年	前期	80.0	16.3	3.8	0
		後期	71.3	21.7	5.7	1.3
児童	高学年	前期	43.6	38.6	15.7	2.1
		後期	39.4	46.9	11.3	2.5

宿題については、多くの児童がすべきものとして捉えています。しかし、については前期同様、児童と保護者で比率が大きく異なるのは、宿題等についての捉え方の違いの表れだと考えます。家庭学習を通して、自学自習の習慣が身につくよう、さらに指導を続けていきます。「家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。」の割合は、2年生以降になると決して高くありません。ご家庭におかれましても、「自分のために自分から」家庭学習に進んで取り組めるよう、今後もご支援・ご協力をお願いします。

の学習の準備については、前期同様、児童・保護者間でA・Bの比率に大きな違いが見られるのは、「忘れていないから問題なし。」とする児童と「早めに自分からしてほしい。」と願う保護者の意識の差だと考えます。忘れた時にお届けいただくことは大変有難いのですが、一方で、「忘れ物をしたらどうなるのか。」ということを身をもって体験し、「しないためにはどうすればよいのか。」しっかり考える機会をもつことも大切なことだと考えます。まずは、忘れ物をしないための手立てを考えながら、子どもたちとともに忘れ物“0”を目指していきたいと思います。ご協力お願いします。

「「早寝・早起き・朝ごはん」などに気をつけている。」については概ね良好な結果となっていますが、低学年では前期よりAの割合の減少とともに、保護者のCの割合が増加傾向にあるのが気になるところです。学校では、長期休業後の生活点検等で児童の健康状態や様子などの把握に努めていますが、ご家庭でも十分に気を付けてください。

本校の重点項目である「3つの“あ”」の一つである挨拶について、児童の様子を客観的に見ていただける保護者のAの割合が、前期よりも低・高ともに増加していることは嬉しいことです。「家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。」とされているご家庭も前期同様に高い割合です。今後も、家庭・地域・学校が一体となり、挨拶の大切さや素晴らしさについて子どもたちの伝えていきたいと思います。

学校の取組

子どもの力を引き出すことを心がけた授業

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	47.4	51.1	1.5	0
		後期	43.8	50.0	6.3	0
児童	高学年	前期	28.1	64.4	6.7	0.7
		後期	33.8	56.2	10.0	0

友達のがんばりを認め、励まし助け合える取組

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	48.1	51.1	0.8	0
		後期	52.4	44.8	2.8	0
児童	高学年	前期	34.1	59.3	5.9	0.7
		後期	40.0	55.4	4.6	0

方針や取組の様子をよく分かるように伝えている。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	56.1	40.2	3.8	0
		後期	46.9	48.3	4.2	0.7
児童	高学年	前期	35.6	57.0	6.7	0.7
		後期	32.3	61.5	6.2	0

整理整頓された学習しやすい環境

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	60.9	38.3	0.8	0
		後期	53.8	42.7	3.5	0
児童	高学年	前期	37.0	60.7	2.2	0
		後期	40.5	58.0	1.5	0

参観・懇談会への参加の働きかけ。

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	54.1	42.1	3.8	0
		後期	45.8	47.9	6.3	0
児童	高学年	前期	34.8	60.7	4.4	0
		後期	30.5	60.3	9.2	0

家庭や地域と積極的に連携した活動

		A	B	C	D	
保護者	低学年	前期	58.3	40.2	0.8	0.8
		後期	55.6	42.4	2.1	0
児童	高学年	前期	38.8	60.4	0	0.8
		後期	40.8	54.6	4.6	0

については、後期もA・B合わせて90%以上と前期よりも高い評価をいただきました。ありがとうございます。今年度、国語科の研究を進めるにあたり、文教大学準教授の山本早苗先生には、1年間にわたってご指導いただきました。また、12月4日の研究発表会では、早稲田大学文学学術院教授の森山卓郎先生をお招きし、授業を見ていたいたり講演を聞かせていただいたりしました。おかげさまで、森山先生からは、子どもたちの学習活動や1年間の研究活動について高い評価をいただきました。しかし、本アンケートにおいては、Cの割合が僅かながらも増加しています。このことを真摯に受け止め、さらに研究を深め、指導に生かしていきたいと思います。

「友達のがんばりを認め、励まし合えるものになっていますか。」において、Aの割合が増加しています。これは、よりよい学習集団を形成するために各学年・学級で積み重ねてきた日々の取組とともに、今年度実施した教室配置の変更やたてわり活動の取組の成果の表れではないかと考えます。また、「子どものよさを認めて、ほめる。」ことを大切にされているご家庭が多いことも大きな支えとなっています。ありがとうございます。今後も、ご支援・ご協力をお願いします。

「学校・学年・学級の方針や取組の様子をよく分かるように伝えていますか。」については、Aの割合が減少しています。にも関わらず、1月の人権参観・懇談会での保護者出席率が低い原因の一つが、この発信不足だと考えます。家庭・地域の皆様にご協力いただきながら教育活動を進めていくためにも、改善していきたいと思います。

児童が安全に学校生活を送れるよう、環境整備に努めることは大変重要なことです。学校では、月に1回、全教職員で安全点検を行い、安全管理に留意しています。今年度途中に運動場に遊び方を変更したのもその一つです。において、危険予知の力がまだ十分に備わっていない低学年の保護者のAの割合が減少しています。もう一度、子どもの目線に立って学校の教育環境の整備に努めていきたいと思います。

本校の教育活動を進めるにあたり、学校運営協議会の「学び」「子ども安全」「読書」「広報」「放課後まなび教室」各企画推進委員会の皆様には、様々な形でご協力いただいている。また、PTAを始め、各団体の皆様にも様々な行事を主催していただいている。ありがとうございます。おかげさまで、「学校は、家庭や地域と積極的に連携して活動できていますか。」については、概ねよい評価をいただきました。しかし、僅かながらCの割合が増えています。これまで以上に地域の行事等への理解を深め、可能な限り教職員が参加して交流を深められるようにし、「地域の子どもは、地域で育てる。」を保護者・地域・学校が協力して実践できるようにしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひします。

〔資料〕「ご家庭で大切にされていること」(%) の回答が多かった順(平均)に並べ替えています。 上が低学年、下が高学年の値です。				設問		7月	1月	設問		7月	1月
	設問	7月	1月		設問	7月	1月		設問	7月	1月
1	学習のことや学校での出来事について、子どもと一緒に話をしている。	80	83	5	基本的な生活リズムが身に着くように条件を整え、家族で取り組んでいる。	75	72	10	子どもが物事に最後まで取り組めるように励ましの声かけをしている。	66	65
		73	72			68	61			66	52
2	家族は、自分から気持ちのよい挨拶をするようにしている。	80	79	6	家庭では、子どものよさを認めて、ほめている。	68	74	11	子どもにも家族の役割分担をさせている。	45	60
		74	71			61	52			53	50
3	子どもの話をしっかり聞いている。	72	76	7	家庭学習ができるように働きかけ、環境を整えている。	69	69	12	日ごろの学習の様子について聞いている。	74	63
		71	65			63	57			52	42
4	学校から配られるプリント(お便り、ホームページ等)は必ず見ている。	83	77	8	参観・懇談など、学校によく足を運んでいる。	71	69	13	PTA活動や地域の行事にできるだけ参加するようにしている。	44	54
		74	61			65	50			45	37
				9	忘れ物がないように、子ども自身が点検する習慣をつけている。	66	67			33	50
						60	51			29	22

《学校関係者評価》

3月15日に開催されました学校運営協議会理事会で、「第2回学校評価結果」を報告し、理事の皆様より貴重なご意見をいただきました。(詳細につきましては、[コミュニティ・ニュースをご覧ください。](#))

気持ちのよいあいさつ。

- 登校安全指導をしている時に、あいさつをしてくれます。「さん、おはようございます。」と名字を言ってくれる子どももいます。(照れくさいですが、嬉しいです。)
- 「さん、おはようございます。」と、私の名前を言って、あいさつしてくれる子どももいます。
あいさつについては定着してきました。ゲストティーチャーで学校に来ていただきたり、活動を支援していただきたりしているので、子どもたちもお顔を覚えていっているのでしょうか。
- 下鴨中学校でも、あいさつを大切にし、「あいさつ運動」をされているようですが、そのように具体的に示すことが大事だと思います。
生徒会が中心になってしていると思います。本校でもしています。

朝読書などで、本を読んでいる。

- 朝読書とは、どういうものでしょうか。
8時35分から、学級全員でしています。学級文庫の本を読んだり、図書メディアセンターから借りた本を読んだりしています。
- 電車に乗っても、時間さえあればゲームをしている子どもをよくみかけます。
中には、活字に夢中になっている私学の子どもさん。学校で読むように指導をされているのかもしれませんね。本を買う

のも、最近は高いようですが、子どもに本を買ってあげることも大事です。

・新聞の寄贈はないのでしょうか。

今もあります。寄贈されたら、学級に置いています。図書メディアセンターにも置こうと思います。

- ・最近は、iPadだけ、PCだけで簡単に調べています。グーグル等でも簡単に検索できますが、そうすると本を読む習慣がなくなります。時間をかけても辞典等を使って調べないと力にならないでしょう。

参観・懇談会への参加の働きかけ。

- ・人権参観とは、どういうものでしょうか。

12月が人権月間です。本校では、1月に人権参観をしました。これは、学習のテーマを「人権」にし、参観していただいているものです。各学年のテーマに沿って、学習した内容を、また、懇談会で保護者の方にも考えていただくというものです。例えば2年生では、韓国・朝鮮の文化にふれました。楽器や民俗衣装にふれ、実際にたたいたり着たりしたりすることを通して理解を深め、お互いの文化を大切にしていくとする学習です。人権参観・懇談会は、懇談会の参加者が少ないので、人権がテーマになると、ご自身の人権感覚を試されるのではなく危惧される方がいらっしゃるかもしれません。学校として、どうしていくか考えています。

- ・人権のお話を全体で聞くというもののよいのではないでしょうか。

- ・以前は、盲導犬をよんで、講堂でお話を聞いたことがあるようですが。

12月の朝会では、校長が、絵本の読み聞かせをし、問題を子ども達に投げかけた上で、学級で考え合うという学習をしました。

子どもの力を引き出すことを心がけた授業。

- ・今は、総合的な学習の時間はどうなっているのでしょうか？

昨年度までは、環境教育を研究に掲げていましたが、今年度から国語科を核に研究を深めています。しかし、生活科や総合的な学習の時間を使って、今までどおり、環境教育をしています。

- ・国語科を取り上げるのはなぜですか？

国語科の学習は、すべての教科の基本と考えています。アクティブラーニング、協働的な学習等が大事だと言われている中、本校でも、子どもの力を高めるべく、指導者自身もスキルアップの研修を深めています。校内研究授業もそのひとつです。大きな発表が、12月4日(金)の研究発表会です。研究の内容は冊子にもまとめ、参観者に配布しています。研究発表会は、毎年行っています。皆さんも参観に来ていただけます。

家庭学習に取り組んでいる。

- ・他校に比べて、宿題は多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

学年によって違います。漢字、計算ドリル、音読、日記等を出している学年が多いと思います。できるだけ、学校全体でそろえていきたいです。

- ・りんごの皮をむいたことのない方（大人）がいると聞きます。家の手伝いをすることが大事だと思います。

先日、5年生の家庭科の時間に、岩崎猛彦さんと、お米作りでお世話になった中川助嗣さんに来ていただきました。そして、一緒に「ごはんとおみそしる」をいただきました。そのごはんは、中川助嗣さんにご指導していただき、作ったお米です。（ほとんどが、中川助嗣さんからいただいたものですが…。）

- ・自分たちで、ねぎを切ったりしていたので、一生懸命取り組んでいるのがわかりました。

- ・少年消防クラブでは、ろうそくづくりもしています。自分達ですることを大事にしています。

- ・シェフが来て家庭科の実習をするという中学校もあるようです。

- ・以前は、「家庭のお手伝い」という項目もあったと思います。

忘れ物をしないようにしている。

- ・忘れ物は、どういったものがありますか？

リコーダー、けんばんハーモニカ、体操服、給食の用意です。忘れ物を持って来られる保護者もいらっしゃいます。

- ・忘れたら、保護者も持つてこないようにすることも大事だと思います。それで、初めて、忘れ物をしたら困るということに気づくのではないかでしょうか。持って来てもらっては、いつまでたっても、「忘れ物をしないでおこう」という気持ちにならないのではないかでしょうか。

忘れ物を取りに帰ることは、安全上禁止しています。荷物を持って帰るのを忘れ、遅くなってから、保護者と一緒に取り来る子どももいます。

その他

- ・自転車のマナーが悪いです。並行して4列で走ってくることも…。

- ・交通安全教室はありますか？

学校でしています。4年生は自転車教室をし、免許証ももらっています。1年生は、4月に交通教室をしています。

- ・高等学校でも、春と秋に1回ずつ自転車教室があります。中学校ではないので、中学校でも自転車教室をするとよいと思います。

- ・学校で決めた決まりを守ることは大事です。運動場の遊び場のルールも時間があれば、子ども達できめるようにしてみててもよいですね。

たてわり活動を大事にしているので、このようなルールを決めることも含め、今後も、たてわり遊び、たてわり給食を充実させていきたいです。

- ・学校評価は、回収率と自由記述が大事です。自由記述をまとめ、次年度に生かしてください。